

高次脳機能障害の原因

脳血管障害 によるもの	交通事故・転落 などによるもの	その他の疾患 によるもの
脳出血 くも膜下出血 脳梗塞 もやもや病 など	脳挫傷 外傷性くも膜下出血 びまん性軸索損傷 硬膜下血腫 硬膜外血腫	脳腫瘍 脳炎 脳症 低酸素脳症 (一酸化炭素中毒、蘇生後脳症) など

高次脳機能障害はある日突然、病気や事故の後遺症により起こる中途障害です。病気や事故になるまでは、仕事や社会、家族の中で役割を担っていました。その役割を取り戻したいという気持ちに寄り添うとともに、病気や事故により失った機能や能力を取り戻すべく、適切な支援に結びつけることが必要です。

高次脳機能障害の診断

画像の検査	神経心理学的検査	問診+観察
頭部のMRI CTや脳波 脳血流量 など	知能検査 記憶検査 注意検査 遂行機能検査 など	事故や病気の経過 発症・受傷前の生活 現在の生活状況 行動の特徴 など

病気や事故により、脳を損傷した事実がわかることが、診断の大前提です。最初に治療を受けた病院からの情報（画像、診療情報提供書、診断書など）、病気や事故による生活上の変化や、神経心理学検査などをもとに総合的に診断します。

ただし、「進行性の認知症（アルツハイマー病）」「先天性疾患や周産期の脳損傷（脳性麻痺）」「発達障害（自閉スペクトラム症）」は除外されます（3ページの「高次脳機能障害の診断基準」より）。